



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区



JAPAN WEST

CHUBU



部長通信

第2号

2018年9月発行

主 題 ワイズ総活躍中部

2018-2019 中部部長 柴田洋治郎

(名古屋東海クラブ)

活動方針

1. EMCに注力すると同時に各クラブの実情に合わせた、個性あるクラブ作りを目指す。
2. ワイズメンズクラブの目的は、第一にYMCAへの奉仕であり、引き続きYMCAとの協働を深化させる。
3. 名古屋、三重、石川、(富山)各クラブ間の連携強化。

10月の西日本区強調月間 BF EF

国際・交流事業主任 中井信一(奈良)

「国際組織であるワイズの一員として、一人一人がワイズの発展に貢献いたしましょう。」

部会について思うこと

本稿を書いているのは、中部部会を終えて、少しホッとしている時期である。現在までに中部部会も含め8部会に参加し、残るはびわこ部のみである。9月の全ての土日と10月最初の3連休も部会参加に費やされた。

他地域の部会への参加は部長としての義務ではないが、恥ずかしながら、私はワイズ会員になって11年間に中部以外の部会に参加したこともなかった。そこで、部長になったのを契機に、他ではどのように部会が催されるのか、自分の目で確かめたいのと、中部部会開催時の参考とし、且つアピールするために西日本区全ての部会に参加してみようと、期初から考えていた。更に西日本区役員会等で、役員や一部のワイズと会話を交わす程度のことはしてきたが、他のワイズとも交流し、親睦を深めたいとの思いもあった。又、個人的には転勤で5年間を過ごした九州の地に36年ぶりに訪れたいとの思いもあった。

ここで少し立ち止まって考えると、果たして部会の開催意義や目的は何なのか。一義的には各部が取り組んできた活動実績、方針の発表の場であること。第二に広域に分散する会員間の交流、親睦の場であること。第三に一番重要なポイントかも知れないが、ワイズの求心力を高め、組織の維持拡大に資するのを目的とすることのように私は思う。

スポンサークラブは事前の緻密な部会の構成、費用計算、スケジュール等を実行委員会中心に協議し、開催当日を迎えることとなる。これに注ぐ時間やエネルギーは、中部部会前の自身の経験からしても想像に難くない。

反面、青臭いと言われるかもしれないが、私が常々疑問に思ってきたのは、上記した部会の有意義な側面とは反対に、西日本区大会も含め、部会に要する費用は相当な額であり、ボランティア団体として、これ程のお金があれば、他への使い道もあるのではないかと考えてきた。9部

会にかかる費用は部会の規模の大小に差はあるものの、登録費及び参加会員の交通費、宿泊費、その他を含めれば相当大きな額である。イベント事とはこんなものだと割り切る見方もあるが・・・。

上記したように、部会開催は、有意義な側面と多額の費用を要する側面を有している。ワイズにとって、この件だけでなく活動を活発化するほどこれに伴う費用も嵩むという問題は、組織の性格上、大きな収益源を持たないワイズにとって、永遠の課題でもあると思う。

しかし、個人的には今回の部会行脚は有意義なものであったので、この感想を次回の部長通信で述べたい。